

# 「ふるまひ」

東京天塩会顧問 安岡忠義



私たちの故郷天塩町は、大雪山の北に聳える天塩岳（1558m）を源とする天塩川が北上し日本海に注ぐ河口の街です。面積は353・48平方kmで道北の一大酪農地帯です。街は日本海に面した美しい利尻山を眺めることができます。この町は明治13年に戸長役場ができたのが開基といわれ、それ以前は慶長18年、松前藩によって漁業の天塩場所が設置され明治の初めまで続きました。平成22年は戸長役場が開庁してから開基130年にあたり、町ではその式典が10月に行われました。

東京天塩会は5年ごとに古里訪問を行っています。丁度この年が訪問の年にあたるので式典への参加者を募り参加をし、その記念に天塩町の花である「ハマナス」の苗木を海

岸近くに植樹しました。東日本の大地震と津波それに伴う原発事故も忘れることはできません。

古里天塩町も大正時代に津波と地震があり、昭和15年の神威岬沖地震による津波では漁場の番屋などが多数流され、尊い11名が犠牲になりました。また火事も多く、明治の終わりから昭和の初めにかけて、3回の大火に見舞われ、併せて570軒が類焼しました。

昔天塩にはアイヌの人達が堅穴式住居を多数作り、文政5年ごろには400人以上が漁業や狩猟で生活していましたが、開拓開放により土地を奪われ、明治38年ごろには天塩の礎を築いた彼らの姿は消えてしまいました。

## 東京なよろ会の活動

事務局長

藤原一也



私たちは平成27年に創立30周年を迎えます。最も力が入る取組は雪質日本一の地元名寄市へのスキーツアーです。これまでに5千5百名を超える参加者がピヤンスキー場を訪ねました。東京なよろ会は平成24年10

月に第28回総会・懇親会を百名規模で開催し、現在、平成25年度のふるさと会活動に力を注いでいます。今年度は1月から3月にかけて192名がスキーツアーに参加しました。6月の「アスパラ祭り」は、地元の名産品とアスパラガスの販売キャンペーンが4日間にわたり杉並区などで行われ、当会も支援活動を行いました。アスパラの人気が定着しつつあるのか、当日空輪のアスパラがほぼ午前中でなくなってしまう盛況ぶりでした。

昨秋に埼玉県で開催した当会主催のゴルフコンペに4組16名が参加しました。そして、今年6月には地元名寄市の白樺ゴルフ倶楽部で、関東からの参加者を含む6組24名で2日

## 第二回「環境未来都市」構想 推進国際フォーラムが下川町で

東京下川会副会長・事務局長 宮澤國雄



平成25年2月16、17日の2日間にわたり、下川町公民館で環境未来都市に関する国際的なシンポジウムが開催されました。



風景議論の談話 片岡明人

16日には、日本国主催による「第2回『環境未来都市』構想推進国際フォーラム」が開催され、29カ国から300名の参加がありました。森林など環境資源を地域の活力に活かす方法や、複数自治体が連携して質の高い福祉サービスを提供する方法、同構想を国際的に普及

させる方法などについて、海外からの有識者・実務者も交えて議論が交わされました。また、17日はサイドイベントとして、町主催により「第1回国際森林フォーラム」を森林未来都市の想像に向けて、欧州の専門家や国内の自治体・林業関係者ら220名が参加し、オーストリアの仕組みや民間企業の事例をもとに議論が交わされました。

フォーラムの最後では、安齋町長から「下川宣言」が読み上げられ、森林文化の創造やフォレストセンターの構築、フォーラムの定期開催などが発表されました。

間のコンペを行いました。好天に恵まれ、さわやかな戸外で、名寄市民の皆様とゴルフツアー参加者が、名寄名物ジンギスカン鍋で楽しく交流しました。

東京なよろ会は、木原会長と各副会長の力で、引き続き25年度の活動を楽しく取り組み、平成27年の創立30周年記念事業の準備を着実に積みあげて行きます。また、若い年代層への働きかけを強めて、会員の増強にも取り組んで行く予定です。」

**店舗ご案内**

東京駅八重洲口前

**HOKKAIDO FOODIST**

北海道フーディスト

www.foodist.co.jp

営業時間:あさ10時~よる8時  
年中無休(年末年始を除く)

TEL.03-3275-0770

東京都中央区八重洲2丁目2-1ダイヤ八重洲ビル1F  
▲JR東京駅八重洲中央口を出て、大きな通りを渡って、右に50mほど。